
夢の世界

雪兎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢の世界

【Nコード】

N4757Y

【作者名】

雪兎

【あらすじ】

頭に浮かんだ詩を乗せると思いますwたまにヤンデレっぽいのだつたり残酷まではいかないですけどそんな描写があるかもしれません。

アーシェットルーン

光を求めて闇に堕ちた

螺旋を巡るその先

知らないうちに始まっていた終焉が……

悲劇に変わった喜劇が物語る

歪んだ話しは永遠
に修正されずに突き進み

崩壊した

明るい日のもとで眠っていた『月の花姫』^{ルシェット}を起こしたのは
『王子』^{アナタ}でしょ？

暗い陰で怯えていた『深淵の歌姫』^{アーシエス}を連れ出したのは『王子』でしょ？

『王子』が綴る言の葉に
紡ぐ言葉一つで終わった世界

真を求めるな

穢れた世界は戯れで溢れてる

消えていく理

自分すら救えない者が他者を救えるわけがない

エゴで壊れたこの世界

有を求めず無を求め始めた

螺旋階段を降りた先

終わりの3人は・・・

始まりの3人は・・・

紅い月が全てを語る夜が始まった

ミックテート

世界が息する朝

鳥のさえずり

巡る時計

進む針

刻む秒針

語る詩人は彼の地を去った

龍が恋するわ一人の少女

嘆く夜は曇天の空

朝の来ない戦場

流れる涙は血に変わる

命を紡ぐ音は命を奪う音

表裏一体の事実

輝く刃に交える心

永久とわに流れる水と

そよぐ歌声

嘘のない瞳

虚栄の心

時に生きとし刻みつける者

儚く散る運命さだめ

全て終わらせ

一から始める

咲き誇る大華

息吹をするものたち

羽化する世界

過ちは未来へと

世界の拒絶

鎖のしがらみ

少女はそれでも抗う

罪を購いながら・・・

血に染まる空

自ら茨の道を進み

誰よりも傷を持つ龍

紺碧の夜に聞こえる

物語・
・
・
・
・
・

心の欠片

それは

小さな・・・・・・・・・・

小さな欠片でした

とても綺麗な光を放つものです

それを手に入れた時

私は何を思うでしょう

一度手放してしまった

大事な・・・・・・・・

とても大事なもの

それはどうすれば取り戻せるのでしょうか？

どうすれば元に戻るのでしょうか

ガラス細工のように脆い

それでいてとても強い

ですが・・・・・・・・

弱いものもあるのです

とても・・・・・・・・

とても弱いものも

私は大事なものを失った

それは私が弱かったから

でもね

失った感情や壊れやすい心を癒してくれる

そんな人たちが私には出来た

私を私と認めてくれる

私の存在を必要としてくれる

あの人たちと一緒に

私の欠片を取り戻して

笑えるようになりたいな

失格の原曲

音のない世界

キミの音が消えた世界

僕の世界からキミの音が消えた時・・・

キミがいない世界は・・・

キミのいない世界は白黒にしか見えない

君だけが鮮やかに輝いていた

どんなに焦がれても手に入らない

どんなに欲しても逃げられる

そして、消えてく

キミがいないなら意味がない

もし・・・

もし僕がいなかったらキミはどう思う？

追いつかない歳月

止められない時間

もう一度

キミのいた世界

キミのいた時間に戻れるなら

もっと笑いあいたかった

名もなき歌

見上げる夜空を瞬いて

光り輝く星一つ見つけた

水面に移る金色の虚像

哀しく詠う人魚は一人

夜に現れ朝に消える月

似て異なるもの

それを憐れむ

瞳から流れる涙は真珠へと変わり

零れ溢れる真珠とともに

甘い吐息は蝶へと変化

静寂の世界に響く音

不安

悲しみ

苦しみ

様々な感情が流れてくる

心は苦しみから逃れられない

彼女には正の感情はない

あるのは負の感情だけ

そうなるように育てられたからだ

愛そうと思えば消えてくもの

信じたいと思えば裏切られる

悲しんだことしかない

憐れな人魚は今日も詠う

紅蓮

血に染まつた紅い薔薇は

オロカナツミノアカシ

綺麗な白は罪へと変わり

落ちてゆく

後戻りの出来ぬ今

薔薇の色は濃く

深くなり

許されない罪もまた

深くなつてゆく

他者の命を使いながら

奪いながら

気づいた時には誰もいない

何も知らない白は

紅へと染まり

狂いながら

悲しみなど

罪悪感など考えず

黒へと落ちてゆく楽しさ

それだけを求め

朽ちてゆく

何も染まらない黒

純粹で何の色も付いてない白

穢れて行く姿は美しい

今宵も汚しつくそう

その白い肌を

白い心を

綺麗な貴方を

本恋異愛

刹那から生まれた悲しい思い

もっと一緒にいたかった

俺が愛しいと思った君

暇つぶしじゃなく本当に愛してたのに・・・

君は俺から離れて行っただね

悲しいな・・・だから

壊す・・・壊してあげるよ

だってね、俺に逆らう・・・言うことの聞けない君はもう・・・

イラナイヤ

後悔しても遅いよ

愛してたんだから

ガラクタの君は壊して解体する

また、新しく作り直すんだ

そんなに脅えなくていいよ

俺には君しかいない、君には俺しかいない

君の瞳に映るのは俺だけでいいんだ

俺の大事な大事な君は誰の目にも触れさせたくない

誰にも触らせたくない

誰にも渡したくないからね

愛情と優しさをこめて壊してあげる

ずっと俺のことだけを考えればいい

ああ・・・・・・・・

真っ赤に染まった君は一段と美しいね

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4757y/>

夢の世界

2011年11月17日18時13分発行